

- 事業所で、耕作放棄地を取得、ビニールハウスを設置し、A I による液肥供給管理システムによりピーマンを主体に栽培している。
- 自社の農業生産のほか、地域の農作業を受託し施設外就労を実施している。



基本情報

所在地 板柳町



取組 パターン 作業受委託型
農業参入型

施設概要 障がい者就労継続支援
多機能型事業所
にじのいろ

主力商品：ピーマン、メロン、
シャインマスカット、
キウイフルーツ、里芋 など

連絡先

TEL : 0172-55-6682
FAX : 0172-55-6683
<https://nijino-iro.jp>

きっかけ

- 当初施設外就労による農福連携を実施したが、農作業の細分化により障がい者の「できることの発見」「適した作業の発掘」を目指すことが第一歩であると必要性を感じた。
- 農作業の細分化によって、障がい者だって「農業ができる」ことの証明と、障がい者の「できる自分の発見」を目標に農業未経験の事業所スタッフが、JAや青果市場、地域の農業者の指導協力を得て自社農業の取組をスタート。

取組内容

- 平成30年に耕作放棄地50aを取得、令和元年に農山漁村振興交付金を活用してビニールハウス及びA I による液肥供給管理システムの導入により、令和2年から本格的に農業を開始。
- ピーマン、メロンのほか、シャインマスカット、キウイフルーツ、里芋を栽培。
- 令和5年2月6日 ノウフクJAS認証取得。
- 軽労野菜としてピーマン栽培に興味を持った地域の高齢農業者に対し、自社作成の栽培マニュアルを無償で提供し地域活性化へ貢献。
- 小玉すいか農家での定植作業は手際の良さなどに評価を受け、継続して作業を請け負うと同時に、新たな作業としてわら敷作業も受託し更なる評価を受けた。

今後の方向

- 最近、りんご農家からの作業依頼も高評価を得られ、継続依頼を頂いている。今後は、障がい者でも取り組みやすい栽培方法として高密度栽培に取り組みたい。

